

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	イタイタイ病及び慢性砒素中毒発生地域住民健康影響実態調査費	事業開始年度	昭和47年度			作成責任者
担当部局庁	総合環境政策局環境保健部	担当課室	企画課保健業務室			森口 裕
会計区分	一般会計	上位政策	環境政策の基盤整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「公害健康被害の補償等に関する法律」における指定疾病であるイタイタイ病及び慢性砒素中毒は、現在もなお新規の患者認定が続いており、またその臨床像についても完全に明らかになっていないため、発生地域における住民の健康状態を把握し適切な対応をとる。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	イタイタイ病の発生地域である神通川流域で、一定以上のカドミウムの曝露を受けていると考えられる住民を対象に、尿検査、血液検査、レントゲン検査による検診を段階的に実施し、イタイタイ病患者及びカドミウムによる可能性のある健康障害を検出し、必要に応じて保健指導などの対応を行う。また、前年度の検診結果を解析する。 また、慢性砒素中毒の発生地域である土呂久地区で、一定以上のヒ素の曝露を受けていると考えられる住民を対象に、内科検診、皮膚科検診、耳鼻科検診等を実施し、慢性砒素中毒患者及びヒ素による可能性のある健康障害を検出し、認定申請につなげるなどの対応を行う。					
実施状況	神通川流域においては平成21年度に143名の一次検診、66名の精密検診を実施し、平成20年度の検診の解析報告書を作成した。 土呂久地区においては39名の検診を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	20	19	16	46	56
	執行額	14	15	14		
	執行率	70%	79%	88%		
	総事業費(執行ベース)	14	15	14		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業目的の達成や効果の観点から事業内容等の把握を十分に行うため、委託先等とは、事業計画の提出、打合せ会議、事業報告等により事業実施に係る情報共有を密に行った。検診結果に対して、専門家による評価がなされ、適正に公害病等の認定申請につなげられ、またリスクの高い者に対して保健指導も実施され、地域の公衆衛生に寄与している。				
	見直しの余地	現在もカドミウム及び砒素の曝露を受けた住民が生存しており、新規の患者認定も続いているため、公害健康被害の補償等に関する法律の運用及び地域の健康管理の適正実施に不可欠な事業である。今後も、発生地域における被害の実態を把握し、保健指導等適切な対応を行っていく。				
予算・監視・所効率	一部改善 (長期に渡り継続して実施していることから、事業内容を重点化すること等により、予算額を節減すべき。)					
補記						

環境省  
14百万円

調査全体の企画・監督、  
委託業者への指導

【随意契約・委託】

A.富山県  
12百万円

カドミウム汚染地域住民健康  
調査の実施

【随意契約・委託】

C.宮崎県  
0.8百万円

砒素の健康影響に関する調  
査の実施

【一般競争入札・請負】<sup>□</sup>

D.(株)リベルタス・コンサルティン  
グ  
1百万円

前年度のカドミウム汚染地域住民健康調査  
結果の解析

【再委託】

B.病院(3機関)  
2百万円

精密検査の実施

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万円)

A 富山県			E		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
使用料及び賃貸料	検診実施のための検査機器のリース料	5			
需用費	事務用消耗品費、コピー機リース料	3			
外部委託	委託先: 富山大学付属病院、富山県立中央病院、富山市立富山市民病院 委託内容: 精密検査の実施	2			
その他	旅費、謝金、賃金、通信運搬費	1			
計		12	計		0
B.病院(富山市立富山市民病院)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
検査費	精密検査(尿検査、血液検査等)	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.(株)リベルタス・コンサルティング			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	前年度のカドミウム汚染地域住民健康調査結果の解析	1			
計		1	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)